

第 79 回秋季大会参加報告

札幌医科大学附属病院 市川紗良

皆様こんにちは。札幌医科大学附属病院の市川です。札幌ももうすっかり雪景色となり、朝に布団を出るのが億劫な今日この頃ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、第 79 回秋季大会についてですが、今年もハイブリッド形式での開催となりました。今回私は先輩方のご指導のもと、初めて発表者として参加させていただいたのですが、私の大学院生時代の学会はコロナ禍中であったこともあり、ほとんどがオンライン開催であり、発表は全てオンライン形式でしか経験がなかったため、対面形式での発表は非常に新鮮に感じました。また、後日お世話になった大学の先生から「Web で参加していたのだけど、発表しているのを見たよ」と声をかけていただき、まさか見られていたとは…と思いつつ、本学会を通してさまざまなつながりを実感することもできました。ハイブリッド開催は、各自の都合で参加方法を選択できるので、個人的に素晴らしいなと思います。

プログラムの内容は多岐の分野に渡り、発表数も非常に多かったのではないかと感じました。今回私は CT 分野で発表させていただいたこともあり、初日は CT のセミナー及び発表をメインに見せていただいたのですが、心臓 CT、救急における CT の活用、Dual Energy CT など、最新のトピックに関する魅力的な発表が数多くありました。当院は Canon 社製の CT 装置を導入していますが、他院では他社製の装置を使用しているところも多く、装置間の違いや、各病院の工夫などを知れたこともまた勉強になりました。CT セミナーでは、虻川先生によるノイズに関するご講演があり、各ノイズの性質や対処などについて、発生原理や実際の見え方について、数式や実際の画像を用いて解説していただきました。

2日目もまた、MRIを始めさまざまな分野の発表がありました。整形外科セミナーでは、脊椎における骨折の分類について札幌脊椎内視鏡・整形外科クリニックの日向寺先生よりお話があり、日々撮影している画像の見方について実際の一般撮影画像などを用いてわかりやすく解説していただきました。

今回の参加も非常に貴重な経験になったと感じています。またこのような場に参加できるよう精進してまいりますので、皆様今後ともよろしく願いいたします。時節柄体調を崩しませんようお体にも気をつけてお過ごしください。



秋季大会終了後に食べた牡蠣です